

兵庫県感染症発生動向調査週報

平成20年第11週(3月10日~3月16日)

平成20年3月21日 兵庫県感染症情報センター - 発行

この週報は感染症法及びその関連法規に基づく感染症発生動向調査の県内状況を速報するものです。患者数は確定した値ではありませんのでご了承ください。感染症発生動向調査は全数把握対象疾病にあっては県(国)内の全医療機関、定点把握対象疾病にあっては指定の医療機関(定点)からの保健所(健康福祉事務所)への報告に基づいています。

国立感染症研究所 感染症情報センターホームページにて

麻疹教育啓発ビデオ~はしかから身を守るために~ が掲載されています。

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/Video/measlesVideo.html>

厚生労働省から「今冬のインフルエンザ総合対策について」が発表されています。

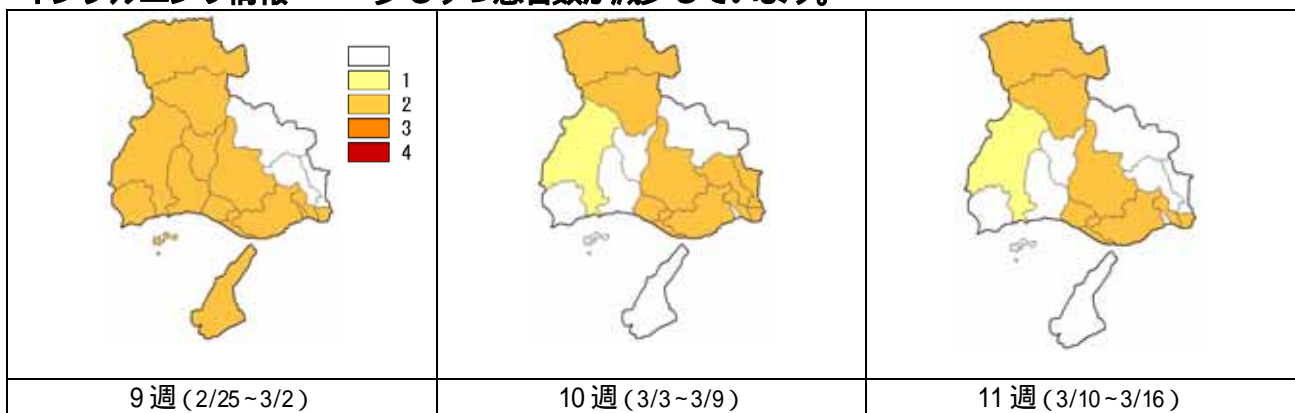
標語 <ひろげるなインフルエンザ ひろげよう咳エチケット>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html> (厚生労働省)

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/infreport/report.html> (インフルエンザ様疾患発生報告)

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/index.html> (流行レベルマップ)

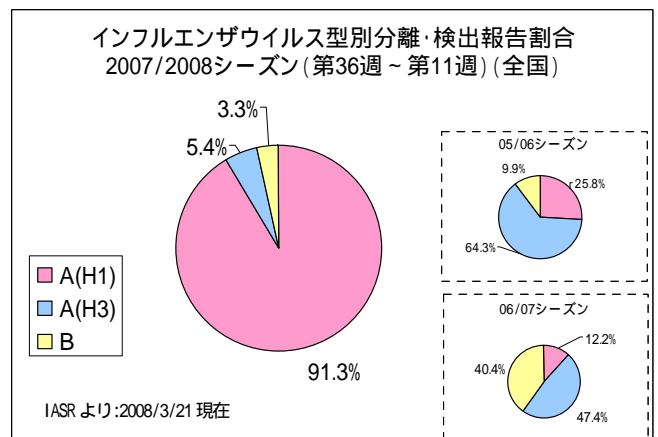
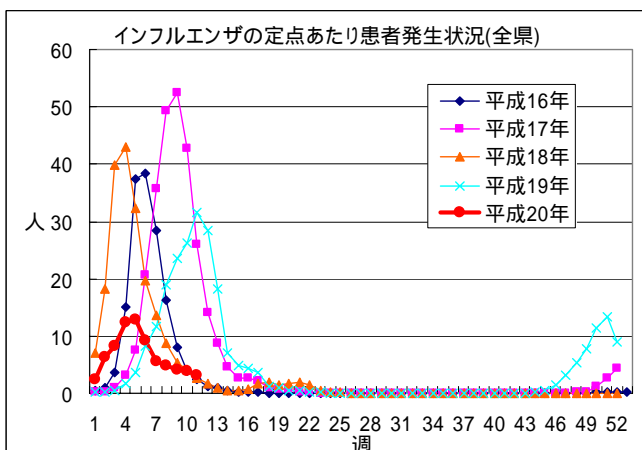
インフルエンザ情報 少しずつ患者数が減少しています。



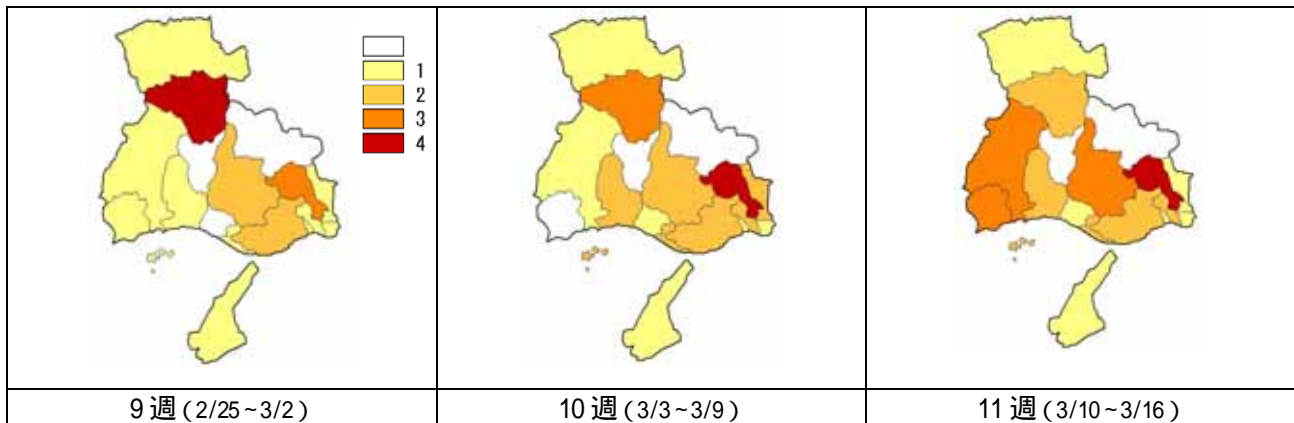
全国のインフルエンザの定点あたり患者数は、4.83人(先週5.80人)となり第6週以降、減少が続いています。13県で警報レベル、22道府県で注意報レベルとなっています(第10週現在)。依然として、全国で分離されているインフルエンザウイルスの約9割をA(H1N1)亜型(Aソ連型)が占めていますが、B型の割合が少しずつ増えています。(第36週~11週)

今週、県内の定点からは患者数635人(先週750人)、定点あたり患者数3.19人(同3.77人)の報告がありました。全国と同様に、第6週以降減少が続いていますが、第7週以降は減少が緩やかになっています。今シーズンは、例年よりも早期にインフルエンザの流行が開始しました。流行のピークは越えたと思われませんが、県内でもB型インフルエンザで今期のワクチン株と異なる型が検出されており、今後もうしばらく注意が必要です。

インフルエンザ予防のために、帰宅時の手洗い・うがい、適度な湿度の保持、十分な睡眠やバランスのとれた食事、混雑する場所への外出は控える、外出時のマスク着用などを心がけましょう。



感染性胃腸炎 先週より患者数がやや増加しました。



感染性胃腸炎の定点あたり患者数は2週連続で増加しました。感染性胃腸炎の主要な病原体とされているのがノロウイルスで、感染すると下痢・嘔吐・吐き気・腹痛などの症状を呈します。感染拡大や、二次感染を防ぐためには、排泄物（吐物・便）やそれらが付着した着衣の消毒処理・処理時における使い捨て手袋やマスクの着用・処理後の手洗いなどが大切です。また、例年2～4月頃はロタウイルスによる感染性胃腸炎の流行時期です。症状や予防法はノロウイルスと同様ですが、乳幼児に多いこと、白色の便性下痢が特徴です。

厚生労働省のホームページにて「**ノロウイルスに関するQ&A**」が掲載されています。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/dl/040204-1.pdf>（厚生労働省）

その他の定点把握感染症等の概況

水痘の定点あたり患者数は毎週増減を繰り返しながら推移しており、今週は減少しました。冬から春にかけて流行する感染症で、伝染力は麻しんに次いで強く、家族内感染発症率は90%以上といわれており、流行期を迎えている現在、注意が必要です。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点あたり患者数は今週減少しました。**流行性耳下腺炎**の定点あたり患者数は今週増加しました。

定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減		疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減
1位	感染性胃腸炎	11.18	10.46	+0.72	6位	流行性角結膜炎	0.40	0.71	-0.31
2位	インフルエンザ	3.19	3.77	-0.58	7位	流行性耳下腺炎	0.39	0.29	+0.10
3位	水痘	1.47	1.81	-0.34	8位	咽頭結核熱	0.33	0.22	+0.11
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.12	1.50	-0.38	9位	RSウイルス感染症	0.27	0.29	-0.02
5位	突発性発しん	0.52	0.64	-0.12	10位	伝染性紅斑	0.11	0.09	+0.02

全数把握感染症

1類感染症： 報告はありません。

2類感染症：**結核 30名**（神戸市13名、尼崎市2名、姫路市7名、西宮市1名、伊丹健康福祉事務所管内2名、宝塚健康福祉事務所管内2名、赤穂健康福祉事務所管内2名、和田山健康福祉事務所管内1名）

3類感染症： 報告はありません。

4類感染症：**レジオネラ症 1名**（姫路市；肺炎型）

5類感染症：**ウイルス性肝炎（C型） 1名**（社健康福祉事務所管内）

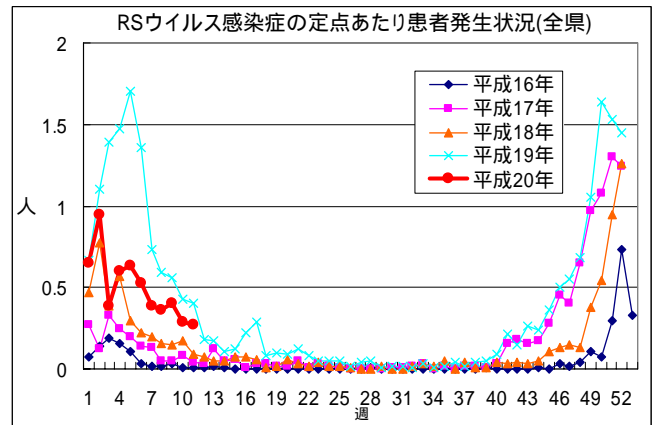
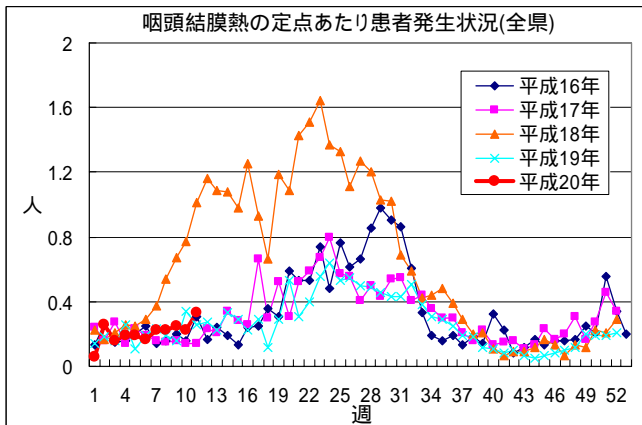
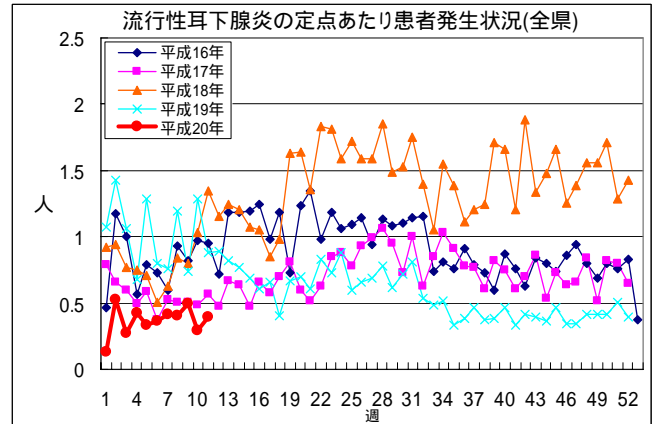
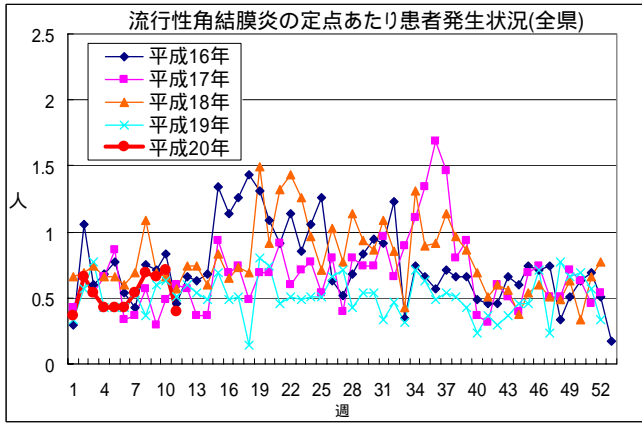
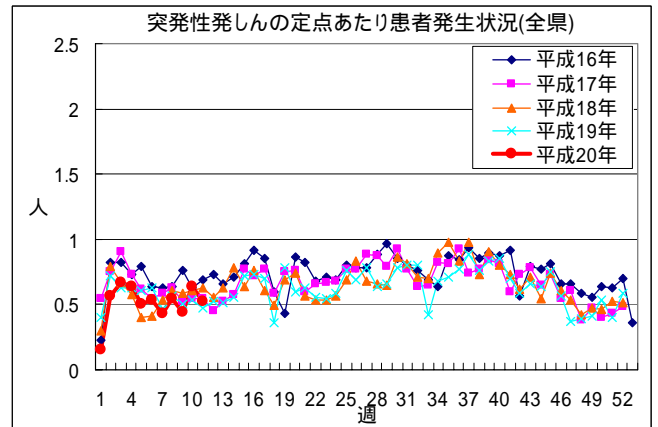
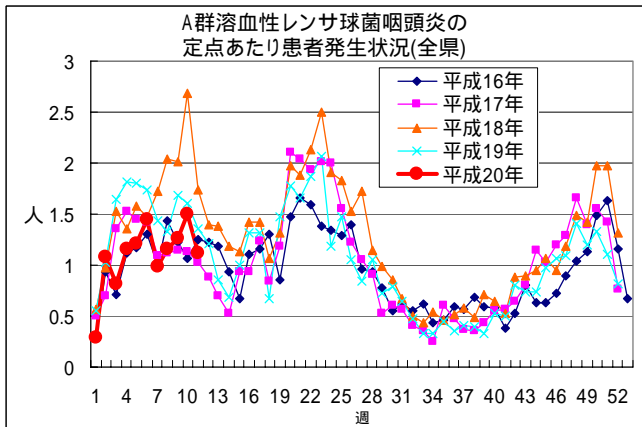
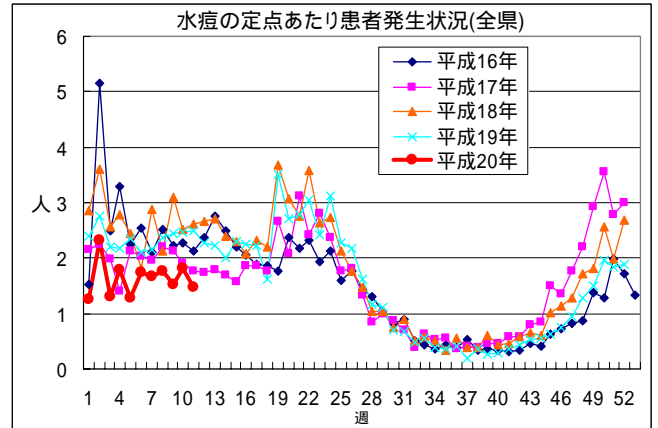
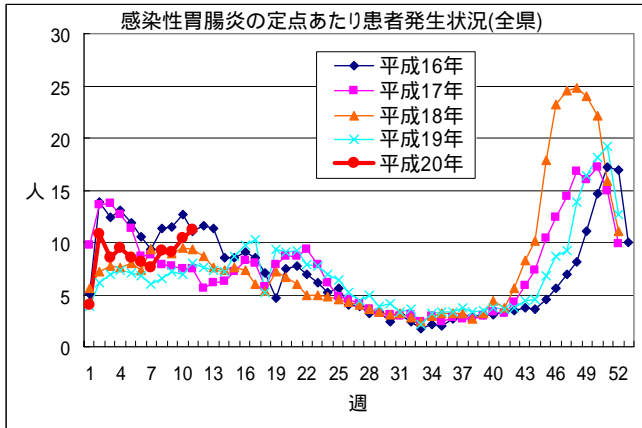
麻しん 1名（尼崎市1名；14歳/ワクチン接種歴不明）

追加報告：**結核 12名**（西宮市1名；第10週、芦屋健康福祉事務所管内2名；第8週、社健康福祉事務所管内3名；第8週2名、第10週1名、洲本健康福祉事務所管内6名；第3週1名、第6週2名、第8週2名、第10週1名）

アメーバ赤痢 1名（神戸市；第10週）

風疹 1名（龍野健康福祉事務所管内；第8週/20歳/ワクチン接種歴1回有（2歳時,MMR））

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDMR)がダウンロードできます。